



令和3年12月7日  
 中央区立月島第一幼稚園  
 たんぽぽ組担任 村木 万佑子

ごっこ遊びが大好きなたんぽぽ組の子どもたち。お母さん、ヒーロー、プリンセス、宇宙飛行士、動物・・・など、身近で見る様々な人や動物になりきる楽しさをたくさん味わいながら、友達と同じイメージで遊ぶ楽しさを感じたり、やりたいことに必要なものを考えたりする経験をしてきました。こうした普段のごっこ遊びを、劇遊びにつなげたいと考えました。

また、学級の友達とも1学期から表現遊びを繰り返し楽しむことができました。教師の声やピアノの音が聞こえると、すぐに動物に変身！そして「ワニに変身！」と声をかけると大きな口を両手で表現する子もいれば、床を這って「ガオー！」と叫んでいる子もいて、どの子もその子なりの表現をしています。一人一人が思ったこと、感じたことを自分なりにのびのびと表現することを楽しむ経験をたくさん重ねてきました。

さらに、11月の観劇会で『3びきのこぶた』を見たことをきっかけに、絵本やお話の世界にさらに興味をもつようになった子どもたち。学級のみんなでも『3びきのこぶた』ごっこをすると、大喜び！！翌日から、絵本の読み聞かせをするたびに、「今日『おおきなかぶ』をやろうよ!」「明日、『桃太郎』やりたいな!」と、いろいろな動物になって表現する楽しさや登場人物になってストーリーに沿って動く楽しさを感じてきました。

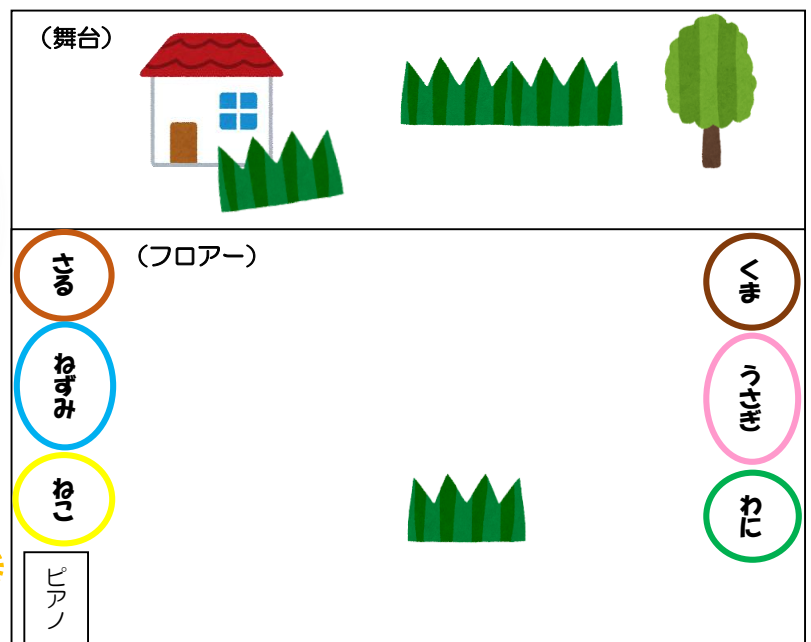
今回のうきうきステージでは、「おくりものを どうぞ!」の劇ごっこを見ていただきます。生活や遊びの中で、友達とつながりを感じながら、一緒に遊ぶことを楽しんでいる姿から、劇ごっこの中では、同じ役の友達と一緒に動いたり、言葉を言ったりする場面を取り入れました。今回の活動を通して、学級の中で、子どもたちが自分なりに表現することを楽しみながら、友達とのつながりを感じ、学級のみんなと一緒に取り組む楽しさや嬉しさを感じてほしいと思っています。

## 「おくりものを どうぞ!」 あらすじ

くまさんの月一園で、おいものがどっさり採れました。たくさん採れたから一人で食べるのはもったいない!「せっかくだから・・・」と隣のうさぎさんのお家にも、届けに行くことにしました。

おいもをもらったうさぎさん。くまさんからの贈り物に嬉しくなって、何かできることはないか考えます。そして、自分の大好きなものをお隣さんにお届けに行くことにしました。贈り物はどんどんお隣に続いて行って・・・

舞台とフロアーを使って、表現をします。舞台の上では、友達と一緒に言葉を言ったり、遊んだりします。



優しい気持ちを受けると心があたたかくなります。子どもたちには、今回の劇を通して優しい気持ちを受けると、嬉しいな、何かしてあげたいな、と受けた優しさがどんどん広がっていくことを、子どもたちなりに感じてほしいと思い、日々の活動を一緒に楽しむことができました。

普段の生活の中でも、きっとおうちの人の愛情や友達から受けた優しさを子どもたちなりに感じ、何かの形で返していると思います。それは、言葉だったり、作ったものだったり、形は様々ですが、日々の生活の中でも、子どもたちは何気なく自然に、子どもたちなりの表現で自分の受けた優しさに対してお返しをしているのでしょう。今回は、贈り物をもろう【優しさ・嬉しさ】に対して自分の大好きなもの(大切にしているもの)を贈るという形で【あったかい気持ち】を広げていきます。

柴野民三原・原作、いもとようこ・文の『おいもをどうぞ!』の絵本を基に、たんぽぽ組バージョンでアレンジしてお届けします。どうぞお楽しみに♪

# こんなところにご注目！子どもたちの見どころ！

## ☆まるで本物みたい！動物の表現

劇遊びを繰り返し行う中で、様々な動物になりきることを楽しんでできました。毎回違う動物を選んで表現することを楽しむ子もいれば、「ねこがいいから、ずっとねこ！」と好きな動物を繰り返し楽しむ子もいました。

また、自分の表現をするだけでなく、表現をしている子へ「それいいね〜！」と言葉をかけたり、友達の姿を見て、「〇〇ちゃん本当のうさぎみたい！」と子どもたち同士で認め合ったりする姿も見られました。当日の役は、子どもたちと一緒に決めました。何の役になるのか、お子さんに聞いてみてください。



## ☆友達と一緒に

生活や遊びの中で友達とつながりを感じながら一緒に遊ぶことを楽しんでいる姿から、同じ役の友達と一緒に動いたり、言葉を言ったりする場面を取り入れました。同じ役の友達と気持ちを合わせようとして言葉を言う前に「せーの」と小さい声で言っていたり、「遊戯室からたんぼぼ組の部屋にも聞こえるくらい大きな声出すぞ！」と大きな声で元気いっぱいと言ったりする姿も見られるようになってきました。

また、役ごとに、日頃楽しんでいる遊びも披露します。手拍子の応援やたくさんの拍手をお願いします！



## ☆素敵なお面や大道具、小道具

お話遊びの段階から、必要なものを口々に話す子どもたち。「本当においもがあった方がいいんじゃない？」「新聞紙くしゃくしゃにしてさ！お花紙とか折り紙巻けばいいんじゃない？」など、これまでの遊びや経験から必要なものに気付いたり、作ろうとしたりする姿が見られました。

そこで、劇に出てくる、食べ物や草など、教師と一緒に色を塗ったり、紙を切って貼ったりして作ることにしました。

また、役が決まると「お面あったほうがいいんじゃない？」との提案も！お面は、教師が画用紙で作った土台に、子どもたちが動物の耳や目、鼻、ヒゲなどの形に紙を切り、のりで貼って作りました。当日は、自分で作ったお面をかぶり、動物に変身します。それぞれ、素敵なお面ができました。子どもたちの思いがこもった大道具や小道具にもご注目ください。

## ☆歌「おひさまになりたい」

たんぼぼ組の子どもたちと歌いたい！と思っていた、私の大好きな歌です。歌っていると、あたたかい気持ちになります。サビの「好き好き大好き！好き好き大好き！たくさんたくさん好きになっておひさまになりたい」の部分は、子どもたちも大好き！優しい気持ちで、口を大きく開けて、元気いっぱいに歌います。



先日、他学級の友達に劇を見てもらい、たくさんの拍手をもらいました。劇ごっこを終えると、「楽しかった！」「ドキドキした」「恥ずかしかった」と、うれしさと恥ずかしさの両方の気持ちを体験した子どもたち。

うきうきステージで、おうちの人に見てもらうことを楽しみにしていますが、大勢の人に見られていることを意識し、うれしさとともに、興奮したり、緊張したりして、ドキドキすることもあるかもしれません。担任として、子どもたちの思いを受け止めながら、その子らしさを発揮できるように、応援しながら、進めていきたいと思えます。おうちの方の笑顔が子どもたちの力になると思えますので、あたたかいまなざしと、たくさんの拍手で応援をお願いします。